

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立南市岡小学校

令和8年5月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

○「いじめアンケート」の計画的な実施、学習者用端末の「心の天気」機能の活用等を通して、早期発見・早期解決につなげることができている。また、月一回以上実施しているいじめ対策委員会及び生活指導連絡会にて児童の状況を全教職員で情報共有・共通理解し、組織的に丁寧に対応することで、いじめの解消した割合は100%となっている。

○不登校への対応については、関係諸機関やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとも連携し、組織的に対応することで児童の状況は改善されてきた。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○視聴覚機器や視聴覚教材の活用、ペア活動やグループ交流の設定、個に応じた指導の充実やデジタルドリル「Navima」の活用等を進めてきた結果、令和7年度の学校アンケート「自分の思いや考えを表現することができる」に対する最も肯定的な回答は81.9%となった。また、「学校の勉強がわかる」に対して肯定的に回答する児童の割合は95%となり、85%以上を維持することができた。

○ICT機器の授業での有効活用（クラスルーム等）、ペア学習やグループ交流、図書室の効果的な利用については、さらに工夫を進める。児童が意見交流する場の設定、一人一台学習者用端末の活用についての研修、体験的な活動を通じた自ら学ぶ学習の充実にさらに取り組んでいく必要がある。

○体力向上の取り組みについては、学校全体で「なわとび週間」「かけあし週間」を実施し、運動が苦手な児童もしっかり体を動かす機会を増やしたり、カードを活用したりした結果、児童の運動意欲の向上が見られた。今後も体力作りの取り組みや家庭と連携した健康的な生活習慣の確立に向けた取り組みを進めていく必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】

○指導者用デジタル教科書や一人一台学習者用端末は活用することができているが、ICT機器や「Navima」等デジタル教材の活用、オンライン学習等の取り組みについては工夫の余地がある。ICT機器やデジタル教材の効果的な授業での活用方法、オンライン学習等の取り組みについて、大阪市総合教育センターでのICT研修をICT推進教員を中心に受講し、学校内の教職員集団に伝達講習をし、深めたりするとともにICTアドバイザーやICT支援員の助言を受け、効果的な活用を進めていく。

○「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合は令和7年3月時点で30%である。教職員の働き方改革の点においては、ゆとりの日や学校閉庁日の設定・実施を引き続き進めるとともに、各学年の取り組みや行事の精選をすすめていく必要がある。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○いじめ対策委員会及び、生活指導連絡会を通して、月一回以上実施し、児童の実態把握に努める。

○暴力を見逃さないとともに暴力があった場合は、すぐに保健室と連携し、対人加害行為のうち要医療につながった件数を年間5件以内にする。

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。

【豊かな心の育成】

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【誰一人取り残さない学力の向上】

○小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができています。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

○年間に2回以上体力づくり週間に取り組み、学校アンケートの「運動をすることが好きだ。」に対する肯定的な回答86.7%以上を維持する。

【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

○ICT機器やデジタル教材を積極的に活用した学習活動を進め、デジタルドリル・学習用端末を活用した学習に週3回以上取り組む。

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

令和 8 年度目標	達成 状況
<p>【3つの最重要目標】</p> <p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○いじめ対策委員会及び、生活指導連絡会を通して、月一回以上実施し、児童の実態把握に努める</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>【最重要目標 2 誰一人残さない学力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができます。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p> <p>○年間に2回以上体力づくり週間に取り組み、学校アンケートの「運動をすることが好きだ。」に対する肯定的な回答86.7%以上を維持する。</p> <p>【最重要目標 3 学びをささえる教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教職員をゼロにする。 ・小学校学力経年調査における「学習者端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【1-1 いじめへの対応】</p> <p>いじめ対策委員会及び生活指導連絡会を通して、児童の実態把握に努める。</p> <hr/> <p>指標・いじめ対策委員会及び生活指導連絡会を月に一回以上実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力を見逃さないとともに暴力があったときは速やかに保健室と連携し、対人加害行為のうち要医療につながった件数を年間 5 件以内とする。 	
<p>取組内容②【2-1 道徳教育の推進】</p> <p>年間計画を策定し、「生きる力を育む性に関する指導（性・生教育）」の中で「生命（いのち）の安全教育」を推進していく。</p> <hr/> <p>指標指標</p> <p>学校アンケートにおける「自分にはよいところがあると思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を平均（80%）以上にする。</p>	
<p>取組内容③【4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>校内研究を通して、文章や資料を読み理解するための指導の工夫を行う。学習ノートやハンドサイン、視聴覚機器なども有効活用し、自分の考えを明確にして、交流したり表現したりする場を設定し、主体的・対話的な学びを深める指導方法の工夫を図る。</p>	

	<p>指標 学校アンケートの「自分の思いや考えを表現することができる」に対する最も肯定的な回答を 82%以上にする。</p>	
取 体	<p>取組内容③【5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】 体育的行事や体力づくりの取り組みなどを工夫し、体力・運動能力を高められるようにする</p>	
	<p>指票 年間に2回以上体力づくり週間に取り組み、学校アンケートの「運動をすることが好きだ」という肯定的な回答 85%以上を維持する。</p>	
I	<p>取組内容①【6-1 ICTを活用した教育の推進】 ICT機器やデジタル教材を積極的に活用した学習指導を進める。</p>	
指	<p>指標 デジタルドリル等、学習者用端末を活用した学習に週3回以上取り組む。</p>	
業	<p>取組内容②【7-1 働き方改革の推進】 業務の効率化や健康維持への意識を高める。</p>	
指	<p>指標 学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間中は2日以上設定する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--